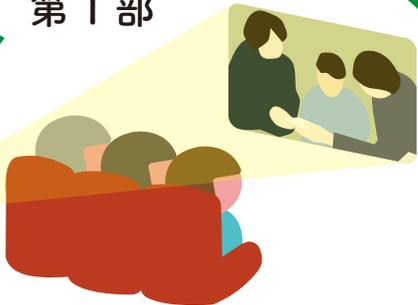


# 東区 地域防災 フォーラム 2025

誰一人取り残さないための防災の備え  
— 障がい者と高齢者の防災 —

## 第1部



映画「星に語りて」上映

## 第2部



基調講演

博多あん・あんリーダー会会長  
因幡那水

## 第3部



パネルディスカッション

コーディネーター 松永昭吾  
博多あん・あんリーダー会 東支部  
パネリスト  
香住丘校区自治協議会会長 山中一男  
東区社協校区会長会会長 亀田伸裕  
東区民生委員児童委員協議会会長 田中香代子  
博多あん・あんリーダー会会長 因幡那水  
博多あん・あんリーダー会東支部 中里理香

令和7年（2025年）

5月17日（土）

12:30 ... 開場

13:00 ... 開演

16:30 ... 終了予定

申し込み方法

入場無料

QRコードから  
4月30日迄に

お申し込み下さい。



会場

なみきスクエア・なみきホール  
福岡市東区千早4丁目21-45  
（JR・西鉄貝塚線・西鉄バス「千早駅」  
西出口から徒歩約1分）



主催：博多あん・あんリーダー会東支部

協賛・後援：福岡市東区自治組織会長会

後援：福岡市 / 東区社協校区会長会 / 福岡市東区民生委員児童委員協議会

## 第1部

# 映画「星に語りて」あらすじ

2011年3月11日東日本大震災、障害のある人と支援者の物語。

舞台の一つは、岩手県陸前高田市。高台にある共同作業所「あおぎり」では、津波の直接的な被害は免れたものの、仲間の一人を失って落胆する利用者たちを女性所長が励ましなが、一日も早く障害のある人が日常を取り戻せるように一歩を踏み出そうとしていた。また全国障害者ネットワークでは、東京、秋田、岩手、福岡など全国のグループが連携して支援活動を始めようとしていた。そんな矢先「障害者が消えた」という情報が入ってきた。多くの避難所をまわっても、障害のある人の姿がほとんど見当たらないというのだ。

一方、福島第一原子力発電所事故によって避難を余儀なくされた地域の一つ、南相馬市では、避難できずに取り残されている障害のある人の存在を知った共同作業所「クロスロードハウス」の代表らが、自らの手で調査に踏み切ろうとしていた。しかし、各地の障害のある人の安否確認を進める中で、彼らに立ちはだかる障壁があった。それは、個人情報保護法によって開示されない、障害のある人の情報だった。法律によって守られる人権と、一刻を争う人命救助との狭間で苦しむ支援者たち。全国障害者ネットワークでは、この障壁を打ち破る手立てを模索していた。

## 第2部

### 基調講演 講演者

博多あん・あんリーダー会会長 / 防災士

いなば なみ

## 因幡那水

福岡市出身。自身の長女に重度の障がいがあり、「災害時に障がい者はどのような支援を受けられるのだろうか」との思いから、防災士の資格を取得。

防災士で構成された防災ボランティア団体（博多あん・あんリーダー会・福岡市）の会長を務める傍ら、日常生活に無理なく取り入れられる「せいかつ防災」を掲げ、各地で講演活動を行っている。

また、長女が通う特別支援学校のPTA会長を務め、多様なニーズに対応可能な防災の取組みを目指している。



## 第3部

### パネルディスカッション コーディネーター

博多あん・あんリーダー会東支部 / 防災士

まつなが しょうご

## 松永昭吾

横浜国立大学豊穡な社会研究センター元気なインフラ研究所所長、大分高専非常勤講師、(株)インフラ・ラボ代表取締役、一般社団法人行政エンジニア支援機構会長。国内外において橋の設計・維持管理、および地震 / 噴火 / 豪雨災害等の災害調査・復旧計画を専門とする土木技術者、研究者。大学、行政機関等において講師をつとめるかわら、東京、大阪における舟遊びガイドや、子どもたち向けの土木工事の本物体験イベントを開催している。モットーは「土木はやさしさをカタチにする仕事」。長崎県佐世保市出身 54歳。



## お問合せ

QRコードよりお問合せ下さい。

お問合せ ▶



開催中止通知 ▶



博多あん・あんリーダー会HP ▶

開催中止通知はこちらからもご確認頂けます。

